科目名	動物理学療法Ⅰ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	伊東知美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	ペット用品会社勤務を経て、ハイドロセラピスト2級取得。現在独立し、犬の整体師、ハイドロセラピストとして従事。						
授業の学習内容	動物のリハビリテーションに必要な基礎知識の習得						
到達目標	運動器の形態と機能の理解（骨格・筋肉を中心に学ぶ）						
評価方法と基準	定期テスト：80%、授業態度（意欲的かどうか）：10%、課題提出物：10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	オリエンテーション・授業内容の説明 （リハビリ施設紹介・理学療法を理解する）	
2	4月25日	講義	動物のリハビリテーションに必要な運動器の形態と機能　～犬の解剖学の基礎～	
3	5月9日	講義	骨格の連結と動き （課題提出）	犬の骨格サンプルを作成
4	5月16日	講義	関節の可動方向	犬の骨格サンプルを用いて 関節可動方向を確認
5	5月23日	講義	前肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
6	5月30日	講義	筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
7	6月13日	講義	筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
8	6月20日	講義	関節の可動方向の復習 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
9	6月27日	講義	関節の可動方向の復習 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
10	7月4日	講義	関節の可動方向の復習 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
11	7月11日	講義	関節の可動方向の復習 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
12	7月18日	講義	関節の可動方向の復習 筋肉の作用を学ぶ（首周り、肩甲骨周り）	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
13	8月29日	講義	7月までの内容復習	7月までの内容復習
14	9月5日	試験	試験	
15	9月12日	講義	試験振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

小動物のリハビリテーション入門/IMAIOS/獣医解剖学/伊東作成オリジナル資料

科目名	動物理学療法Ⅱ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	伊東知美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	ペット用品会社勤務を経て、ハイドロセラピスト2級取得。現在独立し、犬の整体師、ハイドロセラピストとして従事。						
授業の学習内容	動物のリハビリテーションに必要な基礎知識の習得 様々な理学療法について理解する						
到達目標	運動器の形態と機能の理解（骨格・筋肉を中心に学ぶ） 講義を理解し、理学療法の種類を学ぶ						
評価方法と基準	定期テスト：80%、授業態度（意欲的かどうか）：10%、課題提出物：10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義	オリエンテーション・授業内容の説明 （1年後期の復習）	
2	4月25日	講義	1年後期の復習 グループワーク	
3	5月9日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	
4	5月16日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	
5	5月23日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
6	5月30日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
7	6月13日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
8	6月20日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
9	6月27日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
10	7月4日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
11	7月11日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
12	7月18日	講義	後肢の構造 筋肉の作用を学ぶ（腰、後肢、臀部、脛、	学習した部位名と起始、終止、そして作用を復習
13	8月29日	講義	7月まで学んだ内容復習	7月までの内容復習
14	9月5日	試験	試験	
15	9月12日	講義	試験振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

小動物のリハビリテーション入門/IMAIOS/獣医解剖学/伊東作成オリジナル資料

科目名	グルーミングⅠ	必修選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	廣瀬
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習・実習等	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	TCAペットトリマー科卒、TCAトリマーアシスタント、ドッグサロンティアラ、goodyone、nunoclub勤務						
授業の学習内容	″グルーミングは、ワンちゃんが健康的な生活を過ごす為に必要不可欠な授業です。 この授業は、グルーミングする上での基礎知識･用語が理解できるように講義と演習を行います。犬種に合わせたグルーミング方法･犬に合わせたコントロールを実習で学び、多くのペット業界で役立つグルーミング知識と技術を習得します。 ワンちゃん、オーナー様の為になるよう正しいやり方を学ぶ努力をし、学習してください。″						
到達目標	1)グルーミングの流れを理解し、安全に作業することができる 2)グルーミングツールの特徴を理解し、正しく扱える						
評価方法と基準	1. 定期試験:100%(筆記試験を実施) 今まで学んだグルーミングについての筆記試験を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4/17･4/24	講義	グルーミングの注意点を学び、安全に演習を行えるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
2	4/17･4/24	講義実習	グルーミング時の犬への接し方について学び、犬の気持ちを考えられるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
3	5/8･5/15	講義	グルーミングツールについて学び、種類を覚えることができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
4	5/8･5/15	講義	皮膚、被毛、シャンプーについて学び、今後のグルーミングにいかすことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
5	5/22･6/5	講義実習	小型犬で講義実習を行い、グルーミングの流れを記すことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
6	5/22･6/5	講義	リーシュの結び方・綿棒の作り方を学び、1人で行うことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
7	6/12･6/19	演習	小型犬を３～４人でグルーミングをし、メディカルチェックすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
8	6/12･6/19	演習	小型犬を３～4人でグルーミングをし、グルーミングの流れを理解できる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
9	6/26･7/3	演習	犬のコントロール方法を学び、コントロールすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
10	6/26･7/3	演習	ツールの持ち方･動かし方を学び、使い分けすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
11	7/10･7/17	演習	ベイシングのポイントを学び、ベイジングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
12	7/10･7/17	演習	ドライングのポイントを学び、ドライングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
13	8/28･9/11	演習	自己分析をし、自己評価ができる	試験に向けて学んできたことを復習する
14	9月4日	**試験**	筆記試験	試験を受け、出来なかった点を復習する
15	8/28･9/11	**振り返り**	前回の演習で見えた弱点にポイントをおき、弱点を克服できる	解答と説明を再度、復習する
準備学習　時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	

【使用教科書･教材･参考書】 グルーミングツール･筆記用具

科目名	動物臨床検査学実習Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義実習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナーからの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	1.『健康な動物』・『疾病動物』について知ることが出来る 2. 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 3. 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 4. 獣医師の指導のもと、オーナーへ的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	1. 定期試験：50%（状況によって60%まで変更もありえる） 2. 提出物及び確認テスト：30%（状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により加減あり） 3. 出席率・授業中の態度＆参加意欲：20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	月　日	講義・実習	血液検査の評価ができる 採血準備とシリンジの取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
2	月　日	講義・実習	血液検査の評価ができる 抗凝固剤・血液処理について理解することができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
3	月　日	講義・実習	尿検査実施とその評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
4	月　日	講義・実習	便検査実施とその評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
5	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる、採血保定ができる ヘマトクリット管検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
6	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる、採血保定ができる セルタック・ヘマトクリット管検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
7	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる 採血保定・血液塗抹標本の染色ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
8	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
9	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
10	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
11	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる CBCの実施・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
12	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる CBCの実施・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
13	月　日	講義・実習	血液検査の総合評価ができる	教科書該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14	月　日	試験	定期試験の実施（筆記試験・実地試験）	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月　日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習　時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第4巻・配布資料・ホワイトボード
動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物臨床検査学	必修選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義実習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナーからの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	１．『健康な動物』・『疾病動物』について知ることが出来る ２．臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る ３．臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る ４．獣医師の指導のもと、オーナーへ的確な指導をすることが出来る						
評価方法と基準	１．定期試験：50％（状況によって60％まで変更もありえる） ２．提出物及び確認テスト：30％（状況によって20％まで変更あり・提出物の内容により加減あり） ３．出席率・授業中の態度＆参加意欲：20％※オンライン授業等の場合は変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	月　日	講義・実習	血液検査の評価ができる 採血準備とシリンジの取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
2	月　日	講義・実習	血液検査の評価ができる 抗凝固剤・血液処理について理解することが	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
3	月　日	講義・実習	尿検査実施とその評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
4	月　日	講義・実習	便検査実施とその評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
5	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる、採血保定ができる ヘマトクリット管検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
6	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる、採血保定ができる セルタック・ヘマトクリット管検査ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
7	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる 採血保定・血液塗抹標本の染色ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
8	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
9	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
10	月　日	講義・実習	血球検査・血液塗沫標本の作成・生化学検査・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
11	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる CBCの実施・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
12	月　日	講義・実習	血液検査・評価ができる CBCの実施・評価ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストの提出と復習
13	月　日	講義・実習	血液検査の総合評価ができる	教科書該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14	月　日	試験	定期試験の実施（筆記試験・実地試験）	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月　日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習　時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第４巻・配布資料・ホワイトボード
動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	愛玩動物学Ⅰ	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	競走馬生産イヤリング牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長						
授業の学習内容	愛玩動物看護師の国家試験の必須科目であり、看護師として関わることの多い愛玩動物について学ぶ。 イヌやネコ、代表的なエキゾチックアニマルについて品種や生態特徴などを学ぶ。 それぞれの動物の飼養管理方法や基本的な扱いを学ぶ。 使役動物、特に使役犬について学ぶ。						
到達目標	愛玩動物の歴史と品種等について理解する。 使役動物について理解する。 飼養管理について理解する。 動物の基本的な扱いを理解する。						
評価方法と基準	定期試験60点以上で合格 追試は本試験不合格者と本試験の公欠者で一回のみ行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	犬の歴史と主な品種について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
2		講義	犬種のグループと特徴について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
3		講義	犬種のグループと特徴について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
4		講義	使役動物について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
5		講義	猫の歴史と主な品種について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
6		講義	猫種の特徴について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
7		講義	犬と猫の血統書について、発行方法と見方について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
8		講義	犬の飼養管理について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
9		講義	犬の飼養管理と取り扱いについて理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
10		講義	飼い主の責務と適正飼養指導について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
11		講義	猫の飼養管理について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
12		講義	猫の飼養管理と取り扱いについて理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
13		講義	関連法規について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
14		定期試験	試験	弱点部位の導き出しと復習、強化
15		講義	試験解説、弱点の見直しと復習	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：緑書房「愛玩動物看護師の教科書6巻」　　参考書等：必要に応じて随時使用

科目名	愛玩動物学Ⅱ	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	長嶺幸介
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	競走馬生産・イヤリング牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究機構副理事長						
授業の学習内容	愛玩動物看護師の国家試験の必須科目であり、看護師として関わることの多い愛玩動物について学ぶ。 イヌやネコ、代表的なエキゾチックアニマルについて品種や生態特徴などを学ぶ。 それぞれの動物の飼養管理方法や基本的な扱いを学ぶ。 使役動物、特に使役犬について学ぶ。						
到達目標	愛玩動物の歴史と品種等について理解する。 使役動物について理解する。 飼養管理について理解する。 動物の基本的な扱いを理解する。						
評価方法と基準	定期試験60点以上で合格 追試は本試験不合格者と本試験の公欠者で一回のみ行う						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	エキゾチックアニマルの定義や意義、愛玩動物看護師法の飼鳥について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
2		講義	飼鳥の主な種類と、生態、解剖生理などを理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
3		講義	飼鳥の飼養管理について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
4		講義	ウサギの分類・品種・習性について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
5		講義	ウサギの特徴・生理・繁殖・疾病について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
6		講義	モルモットの分類・品種・習性について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
7		講義	モルモットの特徴・生理・繁殖・疾病について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
8		講義	フェレットの分類・品種・習性について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
9		講義	フェレットの特徴・生理・繁殖・疾病について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
10		講義	チンチラの分類・習性・特徴・生理・繁殖について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
11		講義	デグーの分類・習性・特徴・生理・繁殖について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
12		講義	ハリネズミの分類・習性・特徴・生理・繁殖について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
13		講義	フクロモモンガの分類・習性・特徴・生理・繁殖について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
14		定期試験	試験	弱点の見直しと復習
15		講義	試験解説、爬虫類の分類・習性・特徴・生理・繁殖について理解する	ノートのまとめと復習、教科書指定部分の確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	人と動物の関係学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして動物の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習内容	・動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学ぶ ・人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題などを含めて理解する ・授業内において書籍を紹介し、出来るだけ書籍を通して様々な視点から動物について考える ・後期の授業である「生命倫理・福祉」とも関連しており、動物福祉を常に考えられる動物看護師になって欲しい						
到達目標	・人と動物の関係性について動物看護師としてその歴史的な背景、動物観を考えられるようになる ・日本と欧米との動物への考え方の違いを理解する ・動物がいかに人間の生活に入り込んでいるかを考えられるようになる						
評価方法と基準	1）定期試験70%　2）出席率20%　3）授業態度10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方／ヒューマン・アニマル・ボンドの概要	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	欧米と日本の動物間の相違を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	様々な動物における家畜化を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物虐待と児童虐待との関わりを理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	日本における動物に関わる問題を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	愛玩動物が子どもや高齢者に与える恩恵を理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	動物が人に及ぼす影響を考えて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	動物介在介入の目的と内容について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	動物介在介入に使用される動物の衛生面と適性について理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	動物の問題行動について理解する	動物の問題行動についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	カーミングシグナルについて理解する	カーミングシグナルについての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	動物介在介入に対する動物病院の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師の関わりについて理解する	人と動物の関係についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第6巻愛護・適正飼養学

科目名	生命倫理・動物福祉	必修選択	必修	年次	1	担当教員	本村伸子
学科・コース	エコ・イノベーション科	授業形態	講義	総時間（単位）	45 1		
教員の略歴	獣医師免許を持ち、ナチュラルケアのアドバイザーとして動物の病気予防に関するセミナーを開催している講師が実施						
授業の学習内容	・生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉(アニマルウエルフェア)について学ぶ ・現在は伴侶動物の福祉はもちろんのこと、産業動物、実験動物、そして展示動物の福祉についてきちんとした知識と理解が求められている ・愛玩動物だけでなく生きるもの全ての命の重さを感じられる人間になって欲しい						
到達目標	・愛玩動物看護師として必要な職業倫理を理解し、身につけること。 ・その歴史的な背景、動物観を考えられるようになる。 ・「人と動物の関係学」とも関連している授業で、前期と後期を通して動物たちが抱えている様々な問題点を自分の言葉で語れるようになる						
評価方法と基準	1）定期試験70%　2）出席率20%　3）授業態度10%						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		講義	授業の進め方／生命倫理の概要／獣医医療における倫理	教科書等を読み返し授業のまとめをする
2		講義	動物観と影響を与える様々な因子について	動物観についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
3		講義	どんな状況下において安楽死が必要かを考え、理解する／ペットロスについても考える	安楽死やペットロスについての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
4		講義	動物福祉の歴史的背景を考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
5		講義	5つの自由について理解し、説明できる	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
6		講義	動物愛護と動物の権利について理解し、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
7		講義	日本と世界の動物福祉の歴史と現状の問題点を考える	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
8		講義	愛玩動物の福祉と適正飼養について理解して、説明できる	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
9		講義	ペット産業が抱えている問題点を理解する	動物愛護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
10		講義	飼い主のいない犬と猫たちの真の幸せと健康について自分なりに考える	動物の保護についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
11		講義	産業動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
12		講義	実験動物の福祉について考える／3Rについて理解する	動物福祉についての書籍を読む 教科書等を読み返して授業のまとめをする
13		講義	展示動物の福祉について考える	動物福祉についての書籍を読む 試験勉強
14		試験	テスト	試験勉強
15		講義	振り返り	テストで分からなかった箇所の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物学

科目名	コンピューター演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	BSC
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	滋慶学園グループの複数の学校で、学生や教職員に向けたパソコンスキル教育を実施						
授業の学習内容	・ITリテラシー　・メールマナー ・Wordビジネス文章作成　　・インターンシップの報告書の作成 ・Excel表計算、グラフ作成						
到達目標	・新しいテクノロジーや情報を扱うための基礎的な知識や注意点を理解し、正しく活用できる ・マナーを守ってメールを作成できる　・Wordを利用し、複合文書を作成できる ・表計算や表、グラフの作成（Excel）ができる						
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	演習	講座を受講する意義を理解し、PCの基本操作ができる	インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる 講義日程は、 2024年3月29日時点の内容のため、 今後変更の可能性があります アナウンスをご確認下さい
2	4月22日	演習	ITリテラシーについて正しく理解する	
3	5月13日	演習	Officeソフトを授業で使用する準備ができる Wordの基本的な内容を学ぶ	
4	5月20日	演習	受け取り手に好印象を与えるメールのマナーを知り、メール機能を使いこなすことができる	
5	5月27日	演習	文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる	
6	6月3日	演習	画像や図形を駆使した文書を作成できる	
7	6月10日	演習	表を駆使した文書を作ることができる	
8	6月17日	演習	インターンシップの報告書を作成する準備ができる	
9	6月24日	演習	表計算ソフトの基本操作ができる 後期発表資料のシナリオを作ることができる	
10	7月1日	演習	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	
11	7月8日	演習	関数を駆使した資料を作成できる	
12	7月22日	演習	グラフを駆使した資料を作成できる	
13	8月26日	演習	Excel基礎で習ったことを実践できる	
14	9月2日	演習	Excel試験問題の実施	
15	9月9日	演習	前期の振り返り	
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
コンピューターキャリアトレーニング（e-learningテキスト）				

科目名	コンピューター演習Ⅱ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	BSC
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	滋慶学園グループの複数の学校で、学生や教職員に向けたパソコンスキル教育を実施						
授業の学習内容	・プレゼンテーション資料を作成して発表する						
到達目標	・PowerPointを使用したプレゼンテーション資料を作成し、発表できる						
評価方法と基準	定期試験では、パソコンを使用した実技試験をおこない、授業で学んだPC操作の定着度を確認する 評価は通常点(40点)と期末テスト(60点)の合計100点満点でおこない、学則規定に準ずる ＜通常点について＞ 9-10回目のPowerPoint発表回は、いずれかの回で発表をした場合に通常点を付与 実習等で公欠予定の方は、出席できる回で優先的に発表可能						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	必要な情報をインターネットで検索したり、ファイル・フォルダの仕組みを理解して操作したりすることができる	インターネット上の イーラーニングテキストで 操作手順を確認し、 練習を繰り返し操作を定着させる
2		演習	スライド作成の基本的な操作ができる	
3		演習	PowerPointを使用し、紙芝居を作成できる	
4		演習	何を伝えるかを簡潔に示したスライド作成の設計ができる	
5		演習	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	
6		演習	表の活用・図表の効果的な表現をすることができる	
7		演習	訴求力のある発表資料を作成する	
8		演習	フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集する、スライドを完成する	
9		演習	作成したスライドを使って発表できる（1）	
10		演習	作成したスライドを使って発表できる（2）	
11		演習	PowerPoint基礎で習ったことを実践できる	
12		演習	PowerPoint定期試験	
13		演習	後期の振り返り	
14		演習	AIに関する正しい情報や知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	
15		演習	データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

コンピューターキャリアトレーニング（e-learningテキスト）

科目名	動物外科看護学Ⅰ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	羽場智子
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		

教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）
授業の学習内容	愛玩動物看護師として外科処置時に必要な知識・仕事内容について知識を身に付けます。 入院動物の看護ついての知識を身に付け実践します。 手術室内・手術器具・入院舎の衛生管理・消毒・滅菌等について知識を身に付けます。 術者・助手・外回り・滅菌について理解し、正確に実践できる知識を身に付けます。
到達目標	1. 術前・術中（外回り・麻酔管理）・術後に必要な動物の管理ができる 2. 滅菌について理解し、手術器具の名称・用途を知った上で、手術室の準備・手術器具の滅菌ができる 3. 麻酔前後・麻酔中の愛玩動物看護師の仕事を知り、モニタリングについて理解し実践できる 4. 手術助手としての手洗い・ガウンや手袋の装着・メス刃の着脱などができる
評価方法と基準	1. 定期試験：50%（状況によって60%まで変更もありえる） 2. 提出物及び確認テスト：10%（状況によって40%まで変更あり） 3. 出席率・授業中の態度＆参加意欲40% ※オンライン授業等の場合は、上記以外の変更もありえます。

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	月　日	講義	創傷の分類と管理について知る 動物外科とは？総論を学ぶことができる 滅菌・消毒・殺菌・洗浄の違いを知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
2	月　日	講義・実習	包帯法・キャスティングについて知る 手術室内の清掃・整理・器具の移動が実施できる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
3	月　日	講義	術前準備① 手術器具の名称・用途について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
4	月　日	講義・実習	術前準備② 手術器具の名称・用途について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
5	月　日	講義・実習	術前準備③ 手術器具・パッキングについて知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
6	月　日	講義・実習	術前準備④ 滅菌（オートクレーブ・ガス滅菌）ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
7	月　日	講義・実習	術前準備⑤ 術前動物看護（血液検査・留置針・点滴）ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
8	月　日	講義・実習	術前準備⑥ 歯科器具について知る・吸引機について知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
9	月　日	講義・実習	術前準備⑦ドレープ・ガウンの準備 手洗い・手袋装着・ガウン装着ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10	月　日	講義・実習	麻酔前準備①　麻酔の流れ・手順を知る 術前投与薬・麻酔について知ることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11	月　日	講義・実習	麻酔前準備② 手術室・麻酔器の準備ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12	月　日	講義・実習	麻酔前準備① 毛刈りと消毒について知る	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13	月　日	講義・実習	麻酔前準備② 導入・気管内挿管の準備ができる	教科書該当項目の熟読 定期テストにむけての復習
14	月　日	試験	定期試験（筆記・実技実施予定）	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月　日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習　時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第4巻・動物看護実習テキスト・配布資料・ホワイトボード・まとめノート（自作）
実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物外科看護学実習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	羽場智子
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業 形態	実習	総時間 （単位）	60 2		
教員の略歴	獣医師（動物病院勤務）						
授業の学習内容	愛玩動物看護師として外科処置時に必要な知識・仕事内容について知識を身に付けます。 入院動物の看護ついての知識を身に付け実践します。 手術室内・手術器具・入院舎の衛生管理・消毒・滅菌等について知識を身に付けます。 術者・助手・外回り・滅菌について理解し、正確に実践できる知識を身に付けます。						
到達目標	1. 術前・術中（外回り・麻酔管理）・術後に必要な動物の管理ができる 2. 滅菌について理解し、手術器具の名称・用途を知った上で、手術室の準備・手術器具の滅菌ができる 3. 麻酔前後・麻酔中の愛玩動物看護師の仕事を知り、モニタリングについて理解し実践できる 4. 手術助手としての手洗い・ガウンや手袋の装着・メス刃の着脱などができる						
評価方法と基準	1. 定期試験：50%（状況によって60%まで変更もありえる） 2. 提出物及び確認テスト：10%（状況によって40%まで変更あり） 3. 出席率・授業中の態度＆参加意欲：20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	月　日	講義	手術着の作製ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
2	月　日	講義・実習	包帯法・キャスティングができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
3	月　日	講義	手術器具の名称と形状の把握ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
4	月　日	講義・実習	メス刃・縫合針と縫合糸の装着ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
5	月　日	講義・実習	手術器具のパック等ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
6	月　日	講義・実習	滅菌機器の取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
7	月　日	講義・実習	留置針の装着・点滴や入院管理ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
8	月　日	講義・実習	歯科器具のセッティング・片付けができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
9	月　日	講義・実習	ガウン・滅菌布をたたみ梱包ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10	月　日	講義・実習	麻酔の流れをしることができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11	月　日	講義・実習	麻酔機器のセッティング・取り扱いができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12	月　日	講義・実習	手術動物の毛刈り・消毒ができる	教科書該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13	月　日	講義・実習	気管チューブの準備・挿管の保定・流れ・片付けができる	教科書該当項目の熟読 定期テストにむけての復習
14	月　日	試験	定期試験（筆記・実技実施予定）	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15	月　日	実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する
準備学習　時間外学習			授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強	

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第4巻・動物看護実習テキスト・配布資料・ホワイトボード・まとめノート（自作）
実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物内科看護学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	動物看護師の役割について理解する	授業ノートの復習
2	4月26日	講義	動物の扱い方を理解する	授業ノートの復習
3	5月10日	講義	バイタルサインを理解する	授業ノートの復習
4	5月17日	講義	観察ポイントを理解する	授業ノートの復習
5	5月24日	講義	爪切り／耳掃除／肛門腺絞りについて理解する	授業ノートの復習
6	5月31日	講義	歯磨きについて理解する	授業ノートの復習
7	6月14日	講義	環境管理／衛生管理を理解する	授業ノートの復習
8	6月21日	講義	食事について理解する	授業ノートの復習
9	6月28日	講義	検査に使う医材について理解する	授業ノートの復習
10	7月5日	講義	投薬について理解する	授業ノートの復習
11	7月12日	講義	尿検査について理解する	授業ノートの復習
12	7月19日	講義	便検査について理解する	授業ノートの復習
13	8月30日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月6日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月13日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻・実習テキスト

科目名	動物内科看護学Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要となる基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月27日	講義	X線検査について知識を習得する	授業ノートの復習
2	10月4日	講義	超音波検査について知識を習得する	授業ノートの復習
3	10月11日	講義	画像検査（CT／MRI）について知識を習得する	授業ノートの復習
4	10月18日	講義	採血について理解する	授業ノートの復習
5	10月25日	講義	血液検査について理解する	授業ノートの復習
6	11月1日	講義	静脈留置について知識を習得する	授業ノートの復習
7	11月15日	講義	輸液について知識を習得する	授業ノートの復習
8	11月22日	講義	神経学的検査について知識を習得する	授業ノートの復習
9	11月29日	講義	心電図検査について知識を習得する	授業ノートの復習
10	12月6日	講義	血圧検査について知識を習得する	授業ノートの復習
11	12月13日	講義	看護記録について知識を習得する	授業ノートの復習
12	12月20日	講義	入院動物の看護について知識を習得する	授業ノートの復習
13	1月17日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月24日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	1月31日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻

科目名	動物内科看護学実習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握する観察力を身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義＋演習	問診技術を習得する	授業ノートの復習
2	4月26日	講義＋演習	扱い方の技術を習得する	授業ノートの復習
3	5月10日	講義＋演習	バイタルチェックを習得する	授業ノートの復習
4	5月17日	講義＋演習	動物を観察する技術を習得する	授業ノートの復習
5	5月24日	講義＋演習	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りの保定技術を習得する	授業ノートの復習
6	5月31日	講義＋演習	歯磨きの技術を習得する	授業ノートの復習
7	6月14日	講義＋演習	環境管理／衛生管理に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
8	6月21日	講義＋演習	食事の際の技術を習得する	授業ノートの復習
9	6月28日	講義＋演習	医材の扱い方を習得する	授業ノートの復習
10	7月5日	講義＋演習	投薬に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
11	7月12日	講義＋演習	採尿方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
12	7月19日	講義＋演習	採便方法と検体の扱い方を習得する	授業ノートの復習
13	8月30日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月6日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月13日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握する観察力を身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月27日	講義＋演習	X線検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
2	10月4日	講義＋演習	超音波検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
3	10月11日	講義＋演習	CT／MRI検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
4	10月18日	講義＋演習	採血に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
5	10月25日	講義＋演習	血液検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
6	11月1日	講義＋演習	静脈留置設置に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
7	11月15日	講義＋演習	点滴に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
8	11月22日	講義＋演習	神経学的検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
9	11月29日	講義＋演習	心電図検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
10	12月6日	講義＋演習	血圧検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
11	12月13日	講義＋演習	看護記録に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
12	12月20日	講義＋演習	入院動物の看護に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
13	1月17日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月24日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	1月31日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻

科目名	動物内科看護学Ⅲ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①各検査に使用する機器の名称、準備する医材、機器の取り扱い方法を理解する ②各検査で必要な保定技術を理解する ③各検査を行う理由となる症状を理解し、検査や看護方法の計画ができるスキルを身につける						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	採血/血液検査について復習する	授業ノートの復習
2	4月24日	講義	輸液管理について知識を習得する	授業ノートの復習
3	5月8日	講義	輸血管理について知識を習得する	授業ノートの復習
4	5月15日	講義	排泄管理について知識を習得する	授業ノートの復習
5	5月22日	講義	看護技術について知識を習得する	授業ノートの復習
6	6月5日	講義	食事管理について知識を習得する	授業ノートの復習
7	6月12日	講義	療法食について知識を習得する	授業ノートの復習
8	6月19日	講義	全身麻酔について知識を習得する	授業ノートの復習
9	6月26日	講義	内視鏡検査について知識を習得する	授業ノートの復習
10	7月3日	講義	耳と皮膚の検査について知識を習得する	授業ノートの復習
11	7月10日	講義	眼科検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	7月17日	講義	CPR／エンゼルケアについて知識を習得する	授業ノートの復習
13	8月28日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月4日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻・動物看護実習テキスト

科目名	動物内科看護学実習Ⅲ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①各検査に使用する機器の名称、準備する医材、機器の取り扱い方法を理解する ②各検査で必要な保定技術を習得する ③各検査を行う理由となる症状を理解し、検査や看護方法の計画ができるスキルを身につける						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義＋演習	採血/血液検査に必要な技術を復習する	授業ノートの復習
2	4月24日	講義＋演習	輸液管理に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
3	5月8日	講義＋演習	輸血管理に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
4	5月15日	講義＋演習	排泄管理に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
5	5月22日	講義＋演習	看護技術に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
6	6月5日	講義＋演習	食事管理に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
7	6月12日	講義＋演習	療法食に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
8	6月19日	講義＋演習	全身麻酔に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
9	6月26日	講義＋演習	内視鏡検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
10	7月3日	講義＋演習	耳と皮膚の検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
11	7月10日	講義＋演習	眼科検査に必要な技術を習得する	授業ノートの復習
12	7月17日	講義＋演習	CPR／エンゼルケアに必要な技術を習得する	授業ノートの復習
13	8月28日	講義＋演習	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月4日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月11日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻・動物看護実習テキスト

科目名	動物内科看護学実習Ⅳ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	内科診療の検査や看護に必要となる手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①各検査に使用する機器の名称、準備する医材、機器の取り扱い方法を理解する ②各検査で必要な保定技術を習得する ③各検査を行う理由となる症状を理解し、検査や看護方法の計画ができるスキルを身につける						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義＋演習	消化器系（消化管）の検査について理解する	授業ノートの復習
2	10月9日	講義＋演習	消化器系（肝胆膵）の検査について理解する	授業ノートの復習
3	10月16日	講義＋演習	泌尿器系の検査について理解する	授業ノートの復習
4	10月23日	講義＋演習	生殖器系の検査について理解する	授業ノートの復習
5	10月30日	講義＋演習	循環器系の検査について理解する	授業ノートの復習
6	11月6日	講義＋演習	呼吸器系の検査について理解する	授業ノートの復習
7	11月13日	講義＋演習	口腔系の検査について理解する	授業ノートの復習
8	11月20日	講義＋演習	内分泌系の検査について理解する	授業ノートの復習
9	11月27日	講義＋演習	神経系の検査について理解する	授業ノートの復習
10	12月4日	講義＋演習	運動器系の検査について理解する	授業ノートの復習
11	12月11日	講義＋演習	アレルギー/免疫系の検査について理解する	授業ノートの復習
12	12月18日	講義＋演習	血液/造血器系の検査について理解する	授業ノートの復習
13	1月15日	講義＋演習	試験前の復習	授業ノートの復習
14	1月22日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	1月29日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻・動物看護実習テキスト

科目名	動物看護学概論	必修選択	必修	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・ｺｰｽ	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	愛玩動物看護師　複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成します。						
到達目標	①獣医療や動物看護師の歴史について理解する ②動物看護師の職業について理解する ③動物病院の役割について理解する						
評価方法と基準	1）定期試験　50% 2）出席率　　25% 3）授業態度　25%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義	獣医療の歴史について学ぶ	授業ノートの復習
2	4月26日	講義	日本における動物看護の歴史と資格制度について学ぶ	授業ノートの復習
3	5月10日	講義	動物看護師の職域・業務範囲について学ぶ	授業ノートの復習
4	5月17日	講義	チーム獣医療における看護師の役割と展望について学ぶ	授業ノートの復習
5	5月24日	講義	動物にとっての健康、福祉、QOLについて学ぶ	授業ノートの復習
6	5月31日	講義	獣医療倫理について学ぶ	授業ノートの復習
7	6月14日	講義	動物病院の役割について学ぶ	授業ノートの復習
8	6月21日	講義	ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞ・ｺﾝｾﾝﾄ、ｾｶﾝﾄﾞｵﾋﾟﾆｵﾝ、守秘義務について学ぶ	授業ノートの復習
9	6月28日	講義	カルテ、看護記録、保存義務について学ぶ	授業ノートの復習
10	7月5日	講義	職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について学ぶ	授業ノートの復習
11	7月12日	講義	愛玩動物看護師の社会的立場について学ぶ	授業ノートの復習
12	7月19日	講義	国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて学ぶ	授業ノートの復習
13	8月30日	講義	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9月6日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月13日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第3巻

科目名	動物形態機能学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	河南圭子
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務（実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当）						
授業の学習内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。 ② 光学顕微鏡下ミクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。③ 愛玩動物看護師の国家資格の取得						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	からだの成り立ちと基本構造、体腔、解剖用語について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月23日	講義・演習	各動物種の骨格の名称と機能について説明できる。骨の成長と関節の役割について述べることができ	配布プリントの作成・練習問題☒
3	5月7日	講義・演習	細胞の構造と機能、細胞膜、細胞小器官の役割について述べることができる。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月14日	講義・演習	核酸の構造と遺伝情報の発現について理解し説明することができる	配布プリントの作成・練習問題☒
5	5月21日	講義・演習	動物の組織の種類と上皮組織、筋組織、結合組織について説明することができる。☒	配布プリントの作成・練習問題
6	6月4日	講義・演習	結合組織に含まれる組織と骨組織、軟骨組織の構成組織を説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
7	6月11日	演習	筋肉の種類と各特徴、筋収縮、エネルギー産生について説明することができる。	これまで実施した問題の復習
8	6月18日	講義・演習	中間試験（筆記試験）・解答解説・振り返り	配布プリントの作成・練習問題☒
9	6月25日	講義・演習	循環器を構成する臓器と心臓の構造、心音、心膜について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
10	7月2日	講義・演習	心臓の刺激伝導系と神経支配について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
11	7月9日	講義・演習	血管系の構造と種類、機能について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
12	7月16日	講義・演習	血液の役割と構成成分が説明でき、血球の種類、血漿成分・止血・血液凝固についても説明ができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
13	8月27日	講義・演習	血球の種類、赤血球の機能、白血球の種類・機能について理解し説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
14	9月3日	演習	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月10日	講義	振り返り（筆記試験できなかった問題をできるようにする）	前期試験問題の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第1巻　基礎動物学　　犬と猫のからだのしくみ

科目名	動物形態機能学　Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	河南圭子
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	①　獣医師　②　製薬会社　創薬研究所勤務（実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当）						
授業の学習内容	動物看護の基盤となる動物のからだのしくみと生理機能について学習する。動物の病気を早期に発見または理解するには正常な動物の状態を知ることが大切であり、病的変化について学ぶ基盤を確立する。						
到達目標	① 哺乳動物・鳥類を中心とした正常な細胞、組織、器官の構造および機能を理解し説明することができる。　② 光学顕微鏡下ミクロレベルでの細胞機能、組織構造を理解し、説明することができる。③ 愛玩動物看護師の国家資格の取得						
評価方法と基準	定期試験（第１４週目）６０点以上で合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	消化器系の構造と各種動物における違いを説明できる。消化と吸収について説明ができる。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月23日	講義・演習	肝臓の構造と機能、胆嚢、胆汁成分について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
3	5月7日	講義・演習	膵臓の構造と消火腺・内分泌腺について理解し説明することができる	配布プリントの作成・練習問題
4	5月14日	講義・演習	栄養素の代謝の仕組みについて理解できる。	配布プリントの作成・練習問題☒
5	5月21日	講義・演習	体液調節の仕組みと泌尿器系の構造について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
6	6月4日	講義・演習	腎臓の機能と尿生成の仕組みについて説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
7	6月11日	講義・演習	内分泌腺の種類と分泌されるホルモンの種類と機能について理解し説明することができる。	これまで実施した問題の復習
8	6月18日	演習	中間試験（筆記試験）・解答解説・振り返り	配布プリントの作成・練習問題☒
9	6月25日	講義・演習	感覚器（視覚）の構造について理解し、視覚・色覚について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
10	7月2日	講義・演習	平衡感覚器・嗅覚器・味覚器の構造と昨日について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
11	7月9日	講義・演習	神経系の分類と神経組織の構造と神経伝達の仕組みについて理解することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
12	7月16日	講義・演習	中枢神経系の構造と機能について理解・説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
13	8月27日	講義・演習	末梢神経系の構造と機能について理解・説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題☒
14	9月3日	演習	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月10日	講義	振り返り（筆記試験できなかった問題をできるようにする）	前期試験問題の復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第1巻　基礎動物学　　犬と猫のからだのしくみ

科目名	動物薬理学Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	河南圭子
学科・コース	エコ・イノベーション学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	① 獣医師 ② 製薬会社 創薬研究所勤務（実験動物の安全性評価・毒性試験・病理検査担当）						
授業の学習内容	動物医療の現場で治療または病気を予防するために数多くの薬物が使用されている。そこで動物病院でよく使用される薬物について動物看護師に必要な基礎知識（使用目的、薬理作用、正しい使用方法および副作用）について学ぶ。						
到達目標	動物医療で使用される薬物についての基礎知識を習得することで①飼い主に正しい服薬指導ができる。②獣医師の指示に従い、薬の調剤ができる、動物看護師を目指す。③愛玩動物看護師国家資格の取得						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	薬理学を学ぶ意味、目的を理解し、薬物の適正な管理と保管方法を知る。	配布プリントの作成・練習問題
2	4月23日	講義・演習	薬物の剤形を理解し、その特徴について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
3	5月7日	講義・演習	薬物の相互作用と主薬補薬について理解する。	配布プリントの作成・練習問題
4	5月14日	講義・演習	薬物が影響される要因について考え説明できる。	配布プリントの作成・練習問題
5	5月21日	講義・演習	薬物投与経路の各種方法を理解し、長所と短所を説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
6	6月4日	講義・演習	薬物動態（吸収分泌代謝排泄）を理解し、影響を及ぼす要因について考え、説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
7	6月11日	講義・演習	抗菌薬の種類と特徴、薬理作用、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
8	6月18日	演習	中間試験（筆記試験）・解答解説・振り返り	これまで実施した演習問題の復習
9	6月25日	講義・演習	抗真菌薬の種類と特徴、薬理作用、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
10	7月2日	講義・演習	自律神経に作用する薬物と種類、特徴について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
11	7月9日	講義・演習	駆虫薬の種類と使用目的、副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
12	7月16日	講義・演習	フィラリア駆虫薬・予防薬の種類と使用方法、注意点について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
13	8月27日	講義・演習	外部寄生虫駆虫薬の種類と使用方法・副作用について説明することができる。	配布プリントの作成・練習問題
14	9月3日	前期試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	中間試験・練習問題の復習
15	9月10日	振り返り	振り返り（筆記試験できなかった問題をできるようにする）	前期試験の振り返り
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書　第3巻　緑書房　　基礎動物看護学3　ファームプレス

科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	宮川
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	様々な疾患の病態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。 各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。						
到達目標	1）基本的な解剖および生理について理解する 2）代表的な徴候や病態、疾患について理解する 3）徴候の評価と記録法について理解する 4）徴候・疾患に基づいた援助について理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施） 筆記試験評価：A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0 ＊本試験で「A」評価がいない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義	循環器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	4月22日	講義	循環器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	5月13日	講義	呼吸器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	5月20日	講義	呼吸器疾患について理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	5月27日	講義	泌尿器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	6月3日	講義	泌尿器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	6月10日	講義	消化器の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	6月17日	講義	消化器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	6月24日	講義	栄養管理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	7月1日	講義	皮膚疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	7月8日	講義	眼・口腔内疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	7月16日	講義	緊急疾患の対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	8月26日	講義	１～１２週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	9月2日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9月9日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			学校犬飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	宮川
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	①獣医師						
授業の学習内容	様々な疾患の病態を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。 各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。						
到達目標	1）基本的な解剖および生理について理解する 2）代表的な徴候や病態、疾患について理解する 3）徴候の評価と記録法について理解する 4）徴候・疾患に基づいた援助について理解する						
評価方法と基準	定期試験100%（14週目に筆記試験を実施） 筆記試験評価：A100～90　B89～80　C79～70　D69～60　F59～0 ＊本試験で「A」評価がいない場合のみ、出席率で加点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月30日	講義	生殖器の解剖生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
2	10月7日	講義	生殖器疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
3	10月21日	講義	内分泌器官の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
4	10月28日	講義	内分泌疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
5	11月4日	講義	内分泌疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
6	11月11日	講義	整形外科疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
7	11月18日	講義	神経疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
8	11月25日	講義	造血器官・免疫器官の解剖・生理を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
9	12月2日	講義	造血疾患を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
10	12月9日	講義	腫瘍の概要および検査を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
11	12月16日	講義	腫瘍の治療・腫瘍随伴症候群を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
12	12月23日	講義	緊急疾患の対応を理解する	授業ノート、配布資料を見直す
13	1月20日	講義	１～１２週までの授業内容を復習する	総復習の問題を解く
14	1月27日	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2月3日	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習　時間外学習			学校犬飼育当番で充当	

【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具

科目名	キャリアデザインⅠ	必修選択	千t無く	年次	4	担当教員	（株）JPR 松井かおり
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	研修講師として専門学校・企業・自治体にて活動。認定カウンセラー。若者支援活動の経験も持つ。						
授業の学習内容	社会に出るに当たって必要不可欠なビジネスコミュニケーションスキルとビジネスマナーを学びます。 また、動物医療に携わる仕事を目指すに当たり、チームワークスキルを磨いていきます。 さらに4年間の学生生活が仕事につながるビジョンを明確にし、学ぶ意欲や仕事への目標を持ち、学生生活を有意義に過ごすためのキャリアデザインも学びます。						
到達目標	①仕事の場面で必要なビジネスコミュニケーションスキルを習得できる ②社会人としての心がけや意識を理解し、基本的なビジネスマナーを習得する ③どのように仕事をしていくのか、キャリアを考え、モチベーションを維持しながら学習することができる						
評価方法と基準	①試験評価　80% ②授業態度・振り返りシート提出　10% ③課題提出　10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義、演習	【オリエンテーション】授業概要　目標設定	教科書復習/課題シート提出
2	4月25日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】教P68-70 メモの取り方/現状把握と課題抽出	教科書復習/課題シート提出
3	5月9日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】P38-39 価値観の違いを理解できる～様々な捉え方	教科書復習/課題シート提出
4	5月16日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】P38-39 価値観の違いを理解できる～共通点と相違点	教科書復習/課題シート提出
5	5月23日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】 価値観の違いを理解できる～リフレイムに挑戦	教科書復習/課題シート提出
6	5月30日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】 価値観を尊重できる～グループワーク	教科書復習/課題シート提出
7	6月13日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】 論理的に考える思考力を作ろう	教科書復習/課題シート提出
8	6月20日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】教P30-47 仕事での「伝える」のポイントとコツを習得できる	教科書復習/課題シート提出
9	6月27日	講義、演習	【ビジネスコミュニケーション】教P47-49 仕事での「きく」のポイントとコツを習得できる	教科書復習/課題シート提出
10	7月4日	講義、演習	【チームワーク】教P62-66 仕事に必要なチームワークスキルが理解できる	教科書復習/課題シート提出
11	7月11日	講義、演習	【チームワーク】教P62-66 チームでの連携・協力スキルを磨く	教科書復習/課題シート提出
12	7月18日	講義、演習	前期試験準備　※PC持参	教科書復習/課題シート提出
13	8月29日	講義、演習	前期試験準備　※PC持参	教科書復習/課題シート提出
14	9月5日	試験	前期試験 プレゼン発表　※PC持参	教科書復習/課題シート提出
15	9月12日	講義、演習	振り返り	教科書復習/課題シート提出
準備学習　時間外学習			復習：教科書を読み、teams課題シートを提出する	

【使用教科書・教材・参考書】
教科書：実践！キャリアコミュニケーション　教材：スライド資料・ワークシート

科目名	キャリアデザインⅡ	必修選択	選択	年次	4	担当教員	（株）JPR 松井かおり
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	研修講師として専門学校・企業・自治体にて活動。認定カウンセラー。若者支援活動の経験も持つ。						
授業の学習内容	社会に出るに当たって必要不可欠なビジネスコミュニケーションスキルとビジネスマナーを学びます。 また、動物医療に携わる仕事を目指すに当たり、チームワークスキルを磨いていきます。 さらに4年間の学生生活が仕事につながるビジョンを明確にし、学ぶ意欲や仕事への目標を持ち、学生生活を有意義に過ごすためのキャリアデザインも学びます。						
到達目標	①仕事の場面で必要なビジネスコミュニケーションスキルを習得できる ②社会人としての心がけや意識を理解し、基本的なビジネスマナーを習得できる ③どのように仕事をしていくのか、キャリアを考え、モチベーションを維持しながら学習することができる						
評価方法と基準	①試験評価　80% ②授業態度・振り返りシート提出　10% ③課題提出　10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	9月26日	講義、演習	【オリエンテーション】教P77 ビジネスマナーとは/挨拶のマナー	
2	10月3日	講義、演習	【基本マナー】「第一印象」教P80-87 好感の持てる第一印象を理解できる	
3	10月10日	講義、演習	【基本マナー】「言葉遣い」と「会話力」教88-97 敬語の意味と目的が理解できる	
4	10月17日	講義、演習	【基本マナー】「言葉遣い」と「会話力」教88-97 敬語の意味と目的が理解できる	
5	10月24日	講義、演習	【基本マナー】電話応対　教104-109 電話の基本マナーとかけ方の流れが理解できる	
6	10月31日	講義、演習	【基本マナー】電話応対　教104-109 電話の受け方、取次の流れが理解できる	
7	11月14日	講義、演習	【基本マナー】メール　教110－114 メールの作成方法と基本マナーをが理解できる	
8	11月21日	講義、演習	【キャリア設計】キャリアとは どのように仕事をしていきたいかを考える	
9	11月28日	講義、演習	【キャリア設計】強みと弱み分析 自身の強みを明確にして仕事に活かす	
10	12月5日	講義、演習	【キャリア設計】モチベーションコントロール モチベーションのアップダウンの傾向を知る	
11	12月12日	講義、演習	【キャリア設計】つまずいたときのレジリエンス 落ち込んだときにも自力で立ち直る力を養う	
12	12月19日	講義、演習	【キャリア設計】試験準備 動物病院リサーチ	
13	1月16日	講義、演習	【キャリア設計】試験準備 動物病院リサーチ	
14	1月23日	試験	後期試験　プレゼン「動物病院リサーチ」	
15	1月30日	講義、演習	振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：実践！キャリアコミュニケーション　教材：スライド資料・ワークシート

科目名	公衆衛生学Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	環境、及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症（ズーノーシス）について学び、それらを人の健康維持増進に役立てます。 公衆衛生学を学び、疾病予防の知識を深めましょう。						
到達目標	公衆衛生の目的、及び公衆衛生行政を学び、one health と獣医療の関係について正しい理解をすることができる。 感染の成立について学習し、疾病、健康障害の発生要因を理解することができる。 人獣共通感染症と予防法について理解することができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	公衆衛生の目的、国民衛生の動向について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP276～281の熟読と理解。
2	4月24日	講義	衛生の主要指標、保健医療衛生について理解することができる。	
3	5月8日	講義	公衆衛生における獣医師と愛玩動物看護士の役割について考えることができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP281～284の熟読と理解。
4	5月15日	講義	感染管理と感染症対策について正しく理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP285～288の熟読と理解。
5	5月22日	講義	リスクコミュニケーションを実践することができる。薬剤耐性菌について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP289～291の熟読と理解。
6	6月5日	講義	バイオハザード、バイオセキュリティについて説明することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP292～295の熟読と理解。
7	6月12日	講義	疫学の発展と獣医療での重要性について理解し、疫学の指標に応用することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP295～304の熟読と理解。
8	6月19日	講義	観察疫学と介入疫学について学習し、様々な研究のイメージを理解することができる。	
9	6月26日	講義	スクリーニングとサーベイランスについて説明することができる。感染症の疫学の特徴を理解すること	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP304～309の熟読と理解。
10	7月3日	講義	人獣共通感染症の概要を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP309～312の熟読と理解。
11	7月10日	講義	いろいろな人獣共通感染症について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP312～323の熟読と理解。
12	7月17日	講義		
13	8月28日	講義		
14	9月4日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	試験範囲からの予習と対策
15	9月11日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 愛玩動物看護師の教科書第3巻 緑書房

TCA東京ECO動物海洋専門学校

科目名	動物栄養学Ⅰ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	あらゆる栄養素について詳しく理解し、個々の動物にあった栄養管理を学びます。動物看護師として、ライフステージに合った健康管理ができることを目指しましょう。						
到達目標	動物に必要な栄養素と、その働きについて正しく理解することができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	栄養素と消化、代謝ついて学び、働きを理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第２巻 P86,87の熟読と理解
2	4月24日	講義	五大栄養素について正しく理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P87～91の熟読と理解
3	5月8日	講義		
4	5月15日	講義	犬猫に必要なビタミン、ミネラルについて、詳しく理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第２巻 P92.93の表の熟読と理解
5	5月22日	講義		
6	6月5日	講義	食性、嗜好、摂食行動について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P95の熟読と理解
7	6月12日	講義	栄養要求量について理解し、計算することができる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P96～99の熟読と理解
8	6月19日	講義		
9	6月26日	講義	ペットフードについて正しく理解し、分類することができる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P100～103の熟読と理解
10	7月3日	講義		
11	7月10日	講義	犬や猫に与えてはいけない食べ物について詳しく学び、健康管理に役立てることができる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P104.105の熟読と理解
12	7月17日	講義		
13	8月28日	講義	前期学習のまとめを行い、模擬問題で正解できる。	愛玩動物看護師の教科書第2巻 P86～105の熟読と理解
14	9月4日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	模擬問題を使ったテスト対策
15	9月11日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第2巻・新犬と猫のからだのしくみ

科目名	動物栄養学Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	ライフステージ別の栄養管理、疾患別の栄養管理について詳しく学びましょう。 栄養療法について学び、実践に活かすことができます。						
到達目標	動物の栄養状態を正しく評価し、食事管理を行うことができる。 疾患別の栄養バランスについて特徴を理解し、治療に役立てることができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	ライフステージごとの栄養管理について説明することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP106～P108の熟読と理解
2	10月9日	講義		
3	10月16日	講義	ボディコンディションスコアと体脂肪率について理解することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP108～P112の熟読と理解
4	10月23日	講義		
5	10月30日	講義	疾患別の食事の管理について詳しく理解することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP113～P116の熟読と理解
6	11月6日	講義		
7	11月13日	講義		
8	11月20日	講義	栄養療法について種類とその方法、特徴を理解することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP117～P120の熟読と理解
9	11月27日	講義		
10	12月4日	講義	静脈栄養法について理解することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP121～Ｐ１22の熟読と理解
11	12月11日	講義		
12	12月18日	講義	動物栄養学について総合的に理解し、様々な療法食の特徴について説明することができる。	愛玩動物の教科書第2巻のP100～P122の復習
13	1月15日	講義	模擬問題を解いて正しく解答することができる。	模擬問題の解答、解説
14	1月22日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	模擬問題を使ったテスト対策
15	1月29日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第2巻

科目名	公衆衛生学Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	環境、及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症（ズーノーシス）について学び、それらを人の健康維持増進に役立てます。 公衆衛生学を学び、疾病予防の知識を深めましょう。						
到達目標	公衆衛生の目的、及び公衆衛生行政を学び、one health と獣医療の関係について正しい理解をすることができる。 ズーノーシスについての知識と感染管理、バイオハザードについての正しい知識を得ることができる。 疫学についての分析、研究を理解し、食品衛生、環境衛生の分野に活かすことができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	人獣共通感染症を正しく分類でき説明することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP312～323の熟読と理解。
2	10月9日	講義		
3	10月16日	講義	環境衛生について理解し具体的な公害病について学ぶことができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP324～326の熟読と理解。
4	10月23日	講義	水、大気、土壌の衛生について詳しく学習することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP326～334の熟読と理解。
5	10月30日	講義	廃棄物とその処理方法について学び実践することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP337～341の熟読と理解。
6	11月6日	講義	院内感染について理解し、正しく処理することができる。衛生動物と健康被害について理解を深めるこ	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP342～347の熟読と理解。
7	11月13日	講義	食品衛生、食品添加物について理解し説明することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP348～350の熟読と理解。
8	11月20日	講義	食中毒について詳しく学習し、理解を深めることができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP351～361の熟読と理解。
9	11月27日	講義		
10	12月4日	講義		
11	12月11日	講義	HACCPと衛生管理について理解し食品衛生に応用することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP361～365の熟読と理解。
12	12月18日	講義	公衆衛生学のまとめ ズーノーシス、公害病、食中毒	前期後期にわたって配布したプリントの内容の復習。
13	1月15日	講義	模擬問題を解いて正しく解答することができる。	模擬問題の解答、解説
14	1月22日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	試験範囲からの予習と対策
15	1月29日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第3巻

科目名	動物感染症学Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼ー）	授業形態	講義	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	感染症を理解するために、微生物の種類や病原性、検査法まで詳しく学習します。 動物を取り巻く環境と寄生虫の相互関係について理解し予防や検査、治療について学び、愛玩動物看護師として正しい対応法を身につけましょう。						
到達目標	微生物や寄生虫の分類、伝播様式、発病のメカニズムを理解することができる。人獣共通感染症について学び、予防医療に役立てることができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義	微生物の分類と特徴について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P196～199の熟読と理解
2	4月24日	講義	微生物検査の基礎について学び、様々な検査方法を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P200～205の熟読と理解
3	5月8日	講義	微生物検査の方法、結果の判定などの写真、イラストなどについて正しく説明することができる。	
4	5月15日	講義	抗原検出法と抗体検出法の違いについて理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P206～208の熟読と理解
5	5月22日	講義	内部寄生虫と外部寄生虫の違い、それぞれの特徴を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P209～211の熟読と理解
6	6月5日	講義	線虫類の特徴、感染様式、検査方法について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P212～217の熟読と理解
7	6月12日	講義		
8	6月19日	講義	犬糸状虫について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P217～219の熟読と理解
9	6月26日	講義	吸虫類、条虫類について生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P219～226の熟読と理解
10	7月3日	講義		
11	7月10日	講義	臨床上重要な原虫類について、生活環、症状、検査法、治療について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P226～234の熟読と理解
12	7月17日	講義		
13	8月28日	講義	外部寄生虫の形態、感染について理解することができる。模擬問題で正解できる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻 P235～239の熟読と理解
14	9月4日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	模擬問題を使ったテスト対策
15	9月11日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

愛玩動物看護師の教科書第3巻

科目名	動物感染症学Ⅱ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸口公代
学科・コース	エコ・イノベーション科4年制（昼一）	授業形態	講義	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、往診専門病院開業、動物病院勤務、web記事執筆、ペットショップ往診等						
授業の学習内容	様々な感染症の成立要因、感染経路、伝播様式について、正しい知識が身につきます。免疫学の基礎を学び、アレルギーやワクチンについてさらに理解を深めましょう。						
到達目標	様々な種類の感染症を学び、知識を整理して臨床現場で役立てることができる。免疫学の知識を得ることで、ワクチンやアレルギー疾患の原理を理解することができる。						
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。 また授業中に行われる確認テストの点数、授業態度も評価の対象とし、適宜加点減点を行う。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義	トキソプラズマ、バベシア、ジアルジアについて理解を深めることができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP226～234の熟読と理解。
2	10月9日	講義	原虫疾患のまとめを行い、知識の整理ができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP231～234の熟読と理解。
3	10月16日	講義	外部寄生虫について各論を学び、それぞれの特徴を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP235～239の熟読と理解。
4	10月23日	講義	感染症の成立要因、伝播様式について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP240～243の熟読と理解。
5	10月30日	講義	様々な感染症について知識を増やすことができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP244～255の熟読と理解。
6	11月6日	講義	ウイルス性疾患、細菌性疾患について、より広い知識を得ることができる。	
7	11月13日	講義	真菌性疾患、急性疾患から慢性疾患まで、様々な感染症について理解することができる。	
8	11月20日	講義	猫の代表的なウイルス疾患について学び、予防の大切さを認識できる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP244～255の熟読と理解。
9	11月27日	講義	消毒法と滅菌法について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP256～258の熟読と理解。
10	12月4日	講義	免疫の基礎について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP259～260の熟読と理解。
11	12月11日	講義	アレルギー、自己免疫疾患について詳しく学習することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP261～262の熟読と理解。
12	12月18日	講義	ワクチンについて詳しく学習し、接種プログラムについて説明することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP263～266の熟読と理解。
13	1月15日	講義	模擬問題を解いて正しく解答することができる。	模擬問題の解答、解説
14	1月22日	試験	前期テスト（筆記試験）６０点以上合格	試験範囲からの予習と対策
15	1月29日	講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習　時間外学習				

愛玩動物看護師の教科書第3巻